

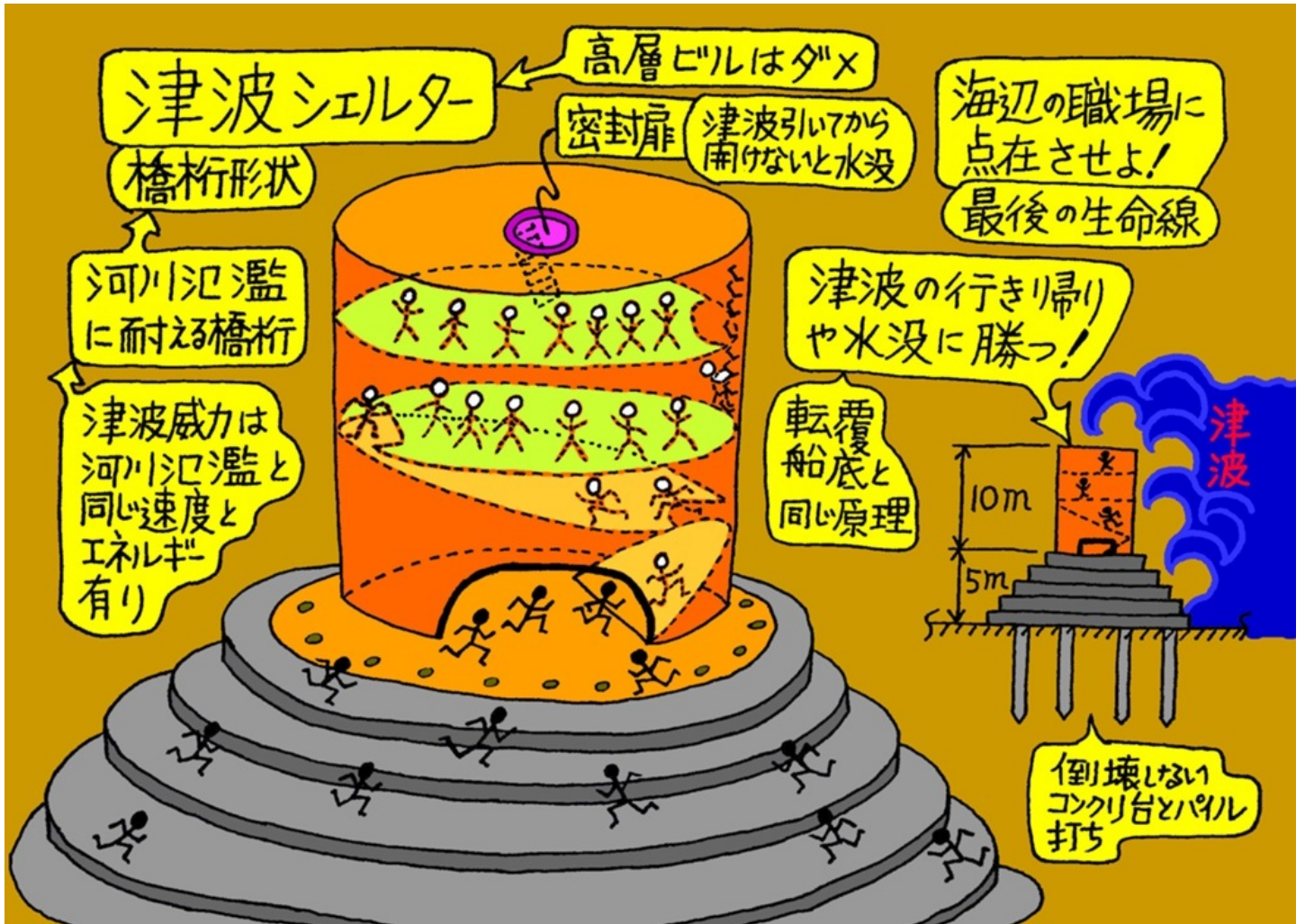
海人chi君の
復興提案

海辺に軍艦島を
点在させよ!

三陸津波なんかに
負けるもんか!

届け! 三陸津波
被災の皆様へ

万里の長城的な
防波堤や輪中
では全員救わ
れん!



非難される事も覚悟で厳しい事
言うよ。“^{かいじん ちゃん}海人chan君のお言葉”
だからね。

^{かいじん ちゃん}海人chan君のお言葉は弱い人・
恵まれない人ほど身につまされて
守りなさい！

決意 これは地震・津波との200年
3代に渡る戦争である。^{きま}肝に
命じて、行動せよ！
昭和の敗戦から立ち直ったように
まだ希望が見えてくる。

警報 役所の津波警報は
善意ではあるが、一生懸命やれば
やる程“狼少年”にしかなりえない。
これは“人間の性^{さが}”である。

進歩した警報は増々必要であるが、
弱者の命、家族の命をほとんど救
えないという現実が今あり、これからも
ありうる。

堤防・輪中は逆効果で、それを
越えた時には壊滅的な結果
にしか、なりえん。

津波防災の田老町宣言も
超えてしまった。もう誰も
自然も信用出来ん!

“一生に一度、来るか来ないか
の津波を恐れて、漁師が
丘へ上がって何事ぞ!”
と言われ滅んでしまった。
弱者の家族・子孫はどう守る?

軍艦島(ノアの箱舟)をいっぱい
造るなんて、バカげている!
金がかかり過ぎる。バカ言っちゃ
イカンよ。百年の計でやらにや
また、皆んなが死んでしまうよ。
こう言う時程、国は国債を発行
せにやならん。

地震で崩れた。どうする。誰の責任だ!
バカ言っちゃイカンよ。津波で家族が呑み
込まれるよりマシだよ。崩れた所は
また力を合せて補修するに決っておろうが。

今、人の住でる川の側、
海の側には、人が住では
“イカン”と言う事ですか？

うんにゃ！ そうでもない軍
艦島（ニアの箱舟）ならば。

最高の津波対策は単純だ！
“住宅を高い所に移す事だ”
この地は世界一の津波常襲
海岸であると、明治の昔から
言われてんのに。何故懲りぬ！

国有高台化（軍艦島・ニアの箱舟
作戦）

地元民組織による建設で労役
収入は地元民に還元。

土地の買収と集落維持のできる
居住高台所有は、この地（三陸）
に生きる者に与えられる基本的生存
権であり、国有とする。

200年3代に1度の津波でも
生き残る集団を選べ・造れ!

全員が生き延びれる集団を
造るのが 貴方に課せられた使命。

ひとりぼっちになっちゃった〜。
誰も助けしてくれな〜い。役所が
悪〜い。対応が悪〜いと泣き
叫んでも 元には戻ら〜ん。

こんだけ、地震・津波情報が
あるのに、津波から逃がれられん
のですか と 狼少年(役所)は言う。

津波に対処して、海で生きる
事は出来ないんでしょうか? と
漁民は言う。海を捨てますか?

今日の事しか考えられん人・生きれん
人がまた、この地に住み始め、
3代経つと、ここを襲った津波
の恐さを忘れちゃう 悲しい人間の
さか性。

この町の人々は1人1人避難計画書
を作り・実行する義務があり、役所の
点検・指示もある厳しいもので 守ら
ない人は追放されるんです。

“^{えんぎょうしや}役の行者”が大昔言うてはった。「丘の上に家を建てよ！海岸に建ててはならぬ」と。でも海岸近くでないと商売にならん（漁師が出来ん）と。昔の漁師は言った。でも今は違う。今の漁師は家族・子孫を守る方策で立ち上がった。

市町村レベルの言話じゃなか！
国が国民を守る基本的な人権の問題や。
人が国を支えていることを忘れんな！
国民オムニボランティアでやる。
年金生活者、働かなくていい者、重機運転できる人、ガソリン供給者など手弁当で結集してやることだよ。

軍艦島（1/Aの箱舟）ならば、
高所でも、海辺に近く
漁業に従事できる^{かよ}通える。
直ぐに避難出来る。
家族・弱者（直ぐ逃れん人）を
守れる。

軍艦島は河川洪水にも
対処できる。だから、軍艦島
を陸島として点在させよ。

宮古市の例

宮古市人口5.9万人、1.5万世帯
の居住高台(軍艦島)を確保せよ

海拔60m以上

居住高台
軍艦島
への箱舟

海拔60m
以下

海拔
60m
以下

海拔60m
以上

今度こそ、200年3代の家族・
子孫が守れる軍艦島を造ろう

海辺に近く、働く場に近く、
避難しやすい軍艦島を
確保せよ

海拔
60m以上

